

# 大型画面で児童の興味・関心を高め、 実感を伴って社会的事象を捉える学習

第4学年

特色ある地域と人々の暮らし

こんな子どもたちの姿が生まれました!

- 学習内容を関連付け、社会的事象の広がり捉えることができました。
- 見学していない地域の様子についても感動を伴って追究できました。

## 大型提示装置の活用による効果



複数の資料をスライドショーで示すことで、実感をもって地域の特色をとらえ、自分たちの住んでいる地域との違いが際立たせることができます。

児童の認識が不十分な映像を複数提示することで、社会的事象への興味・関心を高める。

- ・事前に撮影しておいた美濃和紙を用いた様々な作品を提示する。
- ・既習内容で取り上げた資料を紙媒体で提示し、他の地域の様子と比較しやすくする。



児童の発言の中から焦点化したい箇所や十分に上げられていない事実を全体で共有する場面で使用すると効果的です。

教師が写真資料を提示し、学習支援ツールを用いて捉えるべき事実を確実に捉えさせる。

- ・美濃和紙作りのための施設が地域の人々に守られてきた根拠となる事実について、資料の言葉にラインを引いて提示する。

### 教師の指導のポイント

- 資料を大型提示装置で示すとともに、「前の単元で学習した地域ではどうでしたか。」「どの資料のどこから分かりましたか。」などと問うことで、資料を比較・関連・総合して捉えたり、根拠立てて考えたりすることを促す。

## プロジェクター・大型スクリーンによる効果

美濃和紙づくりに使用される水の流れを大型スクリーンに動画で提示することで、川の水の美しさを実感できるようにする。

- ・プロジェクターで大型スクリーンに映像を投影し、繰り返し再生する。
- ・動画を再生している近くに、紙媒体資料として、水の循環図を提示し、資料を関連付けて課題解決を促す。



### 教師の指導のポイント

- プロジェクターで映像を拡大して示すことで、注目させたい様子や音声を捉えるようにする。
- 映像資料と別の資料の客観的な事実とを関連付けられるようにして提示する。